

予習用課題

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

第4章 日本に暮らす外国人—これまでとこれから— (その2)

外国人の人たちが日本にやってきた目的や、日本でどんな暮らしをしているのかについて知り、お互いの交流を促進することを目的に、1月18日(水)に東亜国際外語学院のベトナム・タイ・中国の留学生と坂戸西高校の地理B受講者との交流会を開催します。その前にこの3ヶ国の地誌(自然環境や生活文化、産業などについて総合的に明らかにしながら地域の特徴を追究する地理学の一分野)について学んでいきましょう。

- * 両面刷りで印刷し、左端2ヶ所をホチキス留めしてください。
- * 右ページの余白部には予習時の解答を記入してください。
- * 予習用課題の解答は、指示があってから始めてください。
- * 下の教科書等の関連ページは、予習用課題の解答の前にさらっと一読してください。

(教科書等の関連ページ)

- 教科書 p. 232～241, 247～255
- 資料集 p.40～57, 64～77

- ☒ この予習用課題およびこの課題を前提にした授業は、2022年7月29日に埼玉県高等学校社会科研究会地理部会(高社研地理部会)が実施した「地理夏季巡検」を基にしています。

https://seifu.sakura.ne.jp/chiribukai/#kaki_zyunken_2022



- ☒ 第4章の学習に関する情報は、坂戸西高校・地理Bのホームページに掲載しています。

https://seifu.sakura.ne.jp/324/2022/chiri/#dai_4shou

(坂戸西高校で使用している教材)

帝国書院：新詳地理B

帝国書院：地歴高等地図

帝国書院：図説地理資料 世界の諸地域 NOW 2022

4 節 3ヶ国の自然環境（気候）を学ぼう！

生徒：ベトナム・タイ・中国ともにアジアの国ですが，気候はずいぶん違うようですね。

先生：そうですね。では，3ヶ国の気候について，地図帳 p.141～4 を用いて調べてみましょう。

問1 下線部に関して，各問に答えなさい。

- (i) p.141～2 の「① 世界の気候区と海流」にペキン，ハノイ，バンコクの位置を●で記入し，都市名も書き込みなさい。また，シャンハイ，ホーチミンの都市名に下線を引きなさい。
- (ii) p.143 の図①～③に，先ほどの（i）を参考にしながらペキン，シャンハイ，ハノイ，ホーチミン，バンコクの位置を●で記入しなさい。
- (iii) 次ページの表 1 を完成させなさい。

(予習時の答えはこのページに記入してください)

表 1

都市	気候区		年		1月		7月	
	記号	日本語	気温 (℃)	降水量 (mm)	気温 (℃)	降水量 (mm)	気温 (℃)	降水量 (mm)
東京	Cfa	温暖湿潤気候	10～20	1000～2000	0～10	25～50	20～30	100～200
ペキン								
シャンハイ								
ハノイ								
ホーチミン								
バンコク								

都市	気候区		年		1月		7月	
	記号	日本語	気温 (℃)	降水量 (mm)	気温 (℃)	降水量 (mm)	気温 (℃)	降水量 (mm)
東京	Cfa	温暖湿潤気候	10～20	1000～2000	0～10	25～50	20～30	100～200
ペキン	Dw	亜寒帯冬季少雨気候	10～20	500～1000	-10～0	25未満	20～30	100～200
シャンハイ	Cfa	温暖湿潤気候	10～20	1000～2000	0～10	25～50	20～30	100～200
ハノイ	Cw	温暖冬季少雨気候	20～28	2000～3000	10～20	25～50	20～30	300～400
ホーチミン	Aw	サバナ気候	20～28	1000～2000	20～30	25～50	20～30	200～300
バンコク	Aw (Am)	サバナ気候 (熱帯雨林気候・ 弱い乾季あり)	20～28	1000～2000	20～30	25未満	20～30	100～200 (200～300)

5 節 3ヶ国の農業について学ぼう!

生徒：3ヶ国ともモンスーン（季節風）の影響を受けていて、高温期の夏に雨が多いことがわかりました。でも、気温や降水量には大きな違いがあります。

先生：そうですね。だから、自然環境の影響を大きく受ける農業にも大きな違いがありますね。では、3ヶ国の農業について、教科書を用いて勉強してみましょう。

問1 下線部に関する各問に答えなさい。

- (i) 教科書 p.250 の図②を見ると、メコン川やチャオプラヤ川の沿岸では（ a ）が行われています。また、ベトナムでは（ b ）の栽培もさかんです。
- (ii) 教科書 p.236 の図①を見ると、広い国土をもつ中国では多様な農業が営まれています。（ a ）＜川の名前＞の北に位置するペキンの周辺では穀物はおもに（ b ）やとうもろこしが栽培されています。一方、（ c ）＜川の名前＞の河口に位置するシャanghai周辺では（ d ）が栽培されています。また、シャanghaiよりも南の丘陵や山岳地帯では特産の（ e ）の栽培がさかんで、世界中に輸出されています。

(予習時の答えはこのページに記入してください)

- 問 1 (i) a. 稲作 b. コーヒー
 (ii) a. 黄河 b. 小麦 c. 長江 d. 米 e. 茶

6 節 ベトナム・タイの近代以降の歴史と産業の変化について学ぼう！

生徒：地図帳 p.21 の図②を見ると、ベトナムのサイゴン（現ホーチミン）は 1862 年に（ a ）の(1)植民地になっています。19 世紀末までに全土が植民地になっているようです。

先生：タイはどうですか？

生徒：植民地になっていません！ どうしてでしょうか？

先生：19 世紀の後半から 20 世紀のはじめにかけてタイの王として活躍した（ b ）の巧みな外交戦略もありますし、また、(2)図②を見て感じることはありませんか？

問1 空欄にあてはまる語句を答えなさい。ただし、空欄 b は次の Web サイトを用いて答えるものとします。

<https://www.y-history.net/appendix/wh1302-093.html>



問2 下線部(1)に関する各問に答えなさい。

- (i) 地図帳 p.21 の図②を見ると、タイを除く東南アジアの国々は、おもに 19 世紀にイギリス、フランス、オランダ、アメリカ合衆国などの植民地として支配されました。植民地支配した国のことを、支配された側からは宗主国（そうしゅこく）といいます。表 2 を完成させなさい。ただし、現在の国名で答えるものとします。
- (ii) 宗主国（の企業）は自分たちに必要な農作物を植民地の大規模な農場で栽培し、さかんに輸出しました。このような欧米資本の大規模な農場が（ a ）で、特定の商品作物にしぼって大規模に栽培することを（ b ）といいます。このように、特定の作物の栽培と輸出に依存する経済構造は、第二次世界大戦後に独立を果たしてもしばらく続きました。一般に、（ a ）の労働力は現地の住民を雇用してまかないましたが、植民地によっては外国人労働者を利用することもありました。マレーシアやシンガポールの民族構成が複雑なのは、このことが背景にあります。教科書 p.101 を見て、どちらもカタカナで答えなさい。

問3 下線部(2)に関して、タイが植民地にならなかった理由を推察して、2～3行の文章で答えなさい。

(予習時の答えはこのページに記入してください)

表 2

宗主国	イギリス	フランス	オランダ	アメリカ合衆国	ポルトガル
植民地支配された 東南アジアの国					東ティモール

宗主国	イギリス	フランス	オランダ	アメリカ合衆国	ポルトガル
植民地支配された 東南アジアの国	ミャンマー マレーシア シンガポール ブルネイ	ラオス カンボジア ベトナム	インドネシア	フィリピン	東ティモール

問 1 a. フランス b. ラーマ 5 世（チュラロンコーン）

問 2 (ii) a. プランテーション b. モノカルチャー

問 3 西からイギリス，東からフランスが東南アジアの植民地分割をめぐって争っていたが，英仏の決定的な対立を回避するためにタイを植民地とすることが難しかったから。

生徒：東南アジアの国々は、(1)太平洋戦争中に欧米諸国にかわって日本の支配下に置かれましたが、第二次世界大戦後に独立したんですね。

先生：そうですね。では、(2)東南アジア諸国が戦後、どのような道をたどったのか確認してみましょう。

問4 下線部(1)に関して、地図帳 p.79～80 を見て各問に答えなさい。

- (i) p.79 左上の凡例「日中戦争・太平洋戦争時に日本軍が進出した最大範囲（1942 年）」の線をマーカーでなぞりなさい。
- (ii) p.80 右上の年表②を見ると、1940 年 7 月に「大東亜共栄圏」構想を発表、とあります。大東亜共栄圏について、次の Web サイトを見て答えなさい。 <https://www.y-history.net/appendix/wh1505-066.html>



大東亜共栄圏とは、「天下を一つの家のようにすること」を意味する（ a ）＜「八」で始まる漢字 4 字＞を目標にして、アジアから欧米諸国を追い出して新たな「国」をつくるという構想ですが、実際には日本の覇権の確立をめざすものでした。大東亜共栄圏に含まれる地域では、白人支配を排除する名目で（ b ）が行われ、日本人化の強制が行われました。

問5 下線部(2)に関して、教科書 p.252～4 を見て各問に答えなさい。

- (i) 東南アジア諸国連合・（ a ）＜ローマ字＞は、（ b ）戦争が激化するなかでインドシナ半島の（ c ）勢力に対抗するために、タイを含む 5 ヶ国で 1967 年に結成された地域連合です。（ d ）＜読みが「れ」で始まる漢字 2 字＞の終結後の 1990 年代には加盟国を増やし、1995 年には（ c ）国の（ b ）も加盟しました。
- (ii) 植民地時代に起源をもつ（ a ）からの脱却を共通の課題とする東南アジア諸国では、外国企業を積極的に誘致して（ b ）政策を進めました。タイには日本をはじめとする大手（ c ）メーカーがあいついで進出したことによって、現在は ASEAN 域外に完成車を輸出する自動車産業の集積地になっています。部品は ASEAN 域内で（ d ）体制を組み、相互に部品を供給しあう体制が確立しています。
- (iii) 社会主義国のベトナムでは、タイなどに比べ工業化が遅れましたが、1986 年に（ a ）とよばれる市場開放政策をとったことや、1995 年に（ b ）＜ローマ字＞に加盟してからは（ c ）的な工業の生産拠点が移転して工業化が進みました。

(予習時の答えは下に記入してください)

問 4 (ii) a. 八紘一字 b. 皇民化政策

問 5 (i) a. ASEAN b. ベトナム c. 社会主義 d. 冷戦

(ii) a. モノカルチャー経済 b. 工業化 c. 自動車 d. 国際分業

(iii) a. ドイモイ b. ASEAN c. 労働集約

7 節 中国の第二次世界大戦後の歴史と経済の変化について学ぼう！

生徒：(1)地図帳 p.11～2 を見ると、1932 年に日本が中国に建国した満州国の範囲が示されていますね。

先生：そうですね。19 世紀半ばのアヘン戦争以後、中国、当時の国号は清ですが、欧米や日本が次々に進出して、いわゆる「半植民地」の状態になっていきますね。日本の中国進出をめぐって欧米諸国と対立したことは、太平洋戦争の原因の一つになりました。

生徒：第二次世界大戦後は（ a ）との激しい内戦を制した（ b ）率いる共産党が 1949 年に(2)中華人民共和国を建国して、（ c ）の道を歩んできたんですね。

問1 下線部(1)に関して、満州国の国境線をなぞりなさい。また、ペキンとシャンハイをマーカーでマークしなさい。さらに、黄河と長江の川の流れをマーカーでなぞりなさい。

問2 空欄にあてはまる語句を、教科書 p.233 を見て答えなさい。

問3 下線部(2)に関して、教科書 p.233 を見て各問に答えなさい。

- (i) 計画経済は社会主義経済の特徴の一つです。計画経済について説明しなさい。
- (ii) 社会主義を農村でも徹底するためにつくられたのが（ a ）です。（ b ）で農業を営むだけでなく、行政や教育の機能ももっていました。
- (iii) 計画経済は（ a ）の低下や生活水準の停滞を引き起こしたため、1970 年代末から（ b ）を取り入れ、外国からの投資も受け入れる（ c ）に転じました。
- (iv) 2001 年に世界貿易機関・（ a ）に加盟して国内の市場を大きく開放したことで、（ b ）がさらに中国に進出し、2010 年には国内総生産・（ c ）＜ローマ字＞で（ d ）につぐ世界第 2 位になりました。

(予習時の答えは下に記入してください)

問 2 (ii) a. 国民党 b. 毛沢東 c. 社会主義

問 3 (i) 政府が製品の生産計画を立案し、それにもとづいて企業や農民に生産を指令する経済のしくみ。製品も政府の指令によって分配される。

(ii) a. 人民公社 b. 集団

(iii) a. 生産意欲 b. 市場経済 c. 経済改革・対外開放政策

(iv) a. WTO b. 外国企業 c. GDP d. アメリカ合衆国